

全国や海外で活躍する尼崎市バス車両たち

ミャンマー

ミャンマーの路線バスは多くが日本の中古車だそうです。外装をあまり変えずに走行しているため、元々どこのバス会社の所有だったかも判別しやすいです。また、右側通行なので車体右側にドアを取り付けます。さらに、できるだけ多くの人が座れるよう、通路を挟んで座席は3人掛けと2人掛けに改造するのが通常です。市内各所を結ぶ鉄道や地下鉄がないため、バスの便数は多く庶民の身近な足となっています。



ミャンマーで活躍する尼崎市バスの車両

こちらは阪急バス



3人掛けと2人掛けシートに改造された車内 通路は狭い

阪急バスは多く見かけます

* 「旅とのりもの」 tabinori2さんより 写真および情報提供いただきました。

北海道 道北バス 旭川周辺で活躍しています



- 日産ディーゼル製
- 旭川 200か・939
 - 旭川 200か・946
 - 旭川 200か・947
 - 旭川 200か・952
 - 旭川 200か・953
 - 旭川 200か・967
- 三菱ニューエアロスター
- 旭川 200か・887
 - 旭川 200か・900
 - 旭川 200か・902
 - 旭川 200か・918

元尼崎市バス 日産ディーゼル・西日本車体制KC-UA460HAN

* 龍太郎さん「龍太郎の日記」より写真および情報提供いただきました。

<u>岩手県</u> <u>岩手県交通バス</u>	岩手 200か17-81	KC-MP747K
<u>宮城県</u> <u>ミヤコーバス</u> <u>気仙沼線</u>	宮城 200か19-35 ~19-39 (復興支援バス)	
<u>茨城県</u> <u>茨木交通バス</u>	水戸 200か12-59	KC-MP747K
<u>茨城県</u> <u>関東鉄道バス</u>	土浦 200か13-22	KC-MP747K
<u>茨城県</u> <u>関鉄パープルバス</u>	土浦 200か4-87	KC-MP747
<u>石川県</u> <u>北鉄奥能登バス</u> <u>富来線</u>	石川 230あ9-07	KC-MP747K
<u>長野県</u> <u>松本電鉄バス</u>	松本 200か・・・12	P-RJ172BA
<u>長野県</u> <u>川中島バス</u>	長野 22あ23-46	P-RJ172BA
<u>岡山県</u> <u>中鉄バス</u>	岡山 200か12-41	KC-UA460HAN
<u>福岡県</u> <u>ゆめりあバス(九州工大スクールバス)</u>	筑豊 200か・4-04	KC-UA460HAN
<u>長崎県</u> <u>西肥自動車バス</u>	佐世保 200か・・・18	P-MP218M
<u>沖縄県</u> <u>東陽バス</u>	沖縄 200か・5-86	U-HT2MLAA
<u>沖縄県石垣島</u> <u>東運輸バス</u>	沖縄 228か・1-58	KC-MP747K



ミヤコー復興支援バス
「このバスは尼崎市交通局から気仙沼市へ贈られた復興支援バスです」と記載

このように尼崎市バスの譲渡・売却車両は、北は北海道旭川から南は沖縄県石垣島まで全国に渡って活躍しています。全国初の全車ノンステップ化を達成した尼崎市バス車両は、お年寄りの多い地方に重宝されています。少子高齢化、過疎化、車社会の進む日本においては、地方のバス会社にとって譲渡・売却車両は経費節減・経営安定の手立てとして、欠かせない存在なのです。また、経済に余裕がなく、都市交通が未発達な発展途上の国々でも、市バス車両は元気に走行しています。私たちの知らない世界は、日常に数多く存在しています。